



上小イメージキャラクター
かみにかっち



令和6年度
上高野小学校
道徳だより No.2

「秋の家族ふれあい運動」での保護者の方の感想を御紹介いたします！

「家族ふれあい運動」～「家庭用 彩の国道徳」を家族で読もう～に御協力くださり、たいへんありがとうございました。素敵な御感想を読ませていただき、心温まりました。その中から、一部を御紹介いたします。

1年生 「笑顔であいさつ」を読み、話し合っ

この話を一緒に読んで、入学したばかりの頃の気持ちを教えてくださいました。「ぼくも最初は恥ずかしかったな。」「大きな声で言ってなかったけれど、今は大きな声で言える！」と主人公の心に共感していました。

息子も1学期の頃は、初めて会う人に緊張して大きな声であいさつができなかったと話していました。「ドキドキするけれど、明るく話しかけてもらえると緊張もなくなるね！」「新しい1年生や優しく楽しく話しかけてあげようね！」と話合いました。

2年生 「大切な宝物」を読み、話し合っ

久しぶりに、産まれてきた時の話や名前の由来、いろいろと話すことができました。あなたは「大切な宝物」だよ！と伝えることができてよかったです。

「大切な宝物」を読んで、子どもたちが生まれた時のことを思い出しました。家族みんなに祝福された大切な命であることを再確認しました。他の人のことも自分のことも大切にできる人になってもらいたいです。

3年生 「おにぎりともそしる」を読み、話し合っ

いつも本の感想などを聞いても「おもしろかった！」などと簡易的な返答でしたが、今回のお話は何か感じるものがあつたのか、いろいろと感想を聞かせてくれました。感謝の気持ち、・・・親子でいつまでも忘れないように過ごしていきたいと思います。

実際に避難したことがないため本人が想像するのに難しそうでした。好きなものばかりでなく、食べ物に感謝しながら食べていけるよう伝えていこうと思いました。

4年生～6年生の保護者の方の感想は、裏面に掲載しております。ぜひご覧ください。

道徳授業公開を開催します！～11月29日（金）5校時～

（持久走大会延期時は、12月2日（月））

幸手市では、毎年11月1日～19日を「道徳週間」に設定しています。学校における道徳の時間を学びの基盤として、子どもたちやその御家庭、地域社会の道徳性を高めることを目的しているものです。その一環で、本校では、11月13日～19日にかけて、「秋の家族ふれあい運動」として、保護者の皆様に「『家庭用 彩の国の道徳』を親子で読み、話し合う」活動に御協力いただきました。厚く感謝申し上げます。

さて、道徳週間の期間は過ぎますが、11月29日（金）、校内持久走大会を行った後に、「道徳授業公開」を開催いたします。午前中の持久走大会とともに、午後の道徳授業公開にもぜひ御来校いただき、お子様の教室での学習の様子をご覧ください。また、保護者の皆様とともにお子様の豊かな心を育むために、御家庭でも当日の道徳授業の内容について話題にしていたけると幸いです。各学級で行う道徳の授業の内容は以下の通りです。

<道徳授業公開の内容 13:40～14:25>



学年・組	お話の名前	話し合うこと
1年1組	かくれんぼ	規則を守る心の大切さ
1年2組	はしのうえのおおかみ	親切な心・思いやりの心の大切さ
2年1組	まいごのすず	親切な心・思いやりの心の大切さ
2年2組	オレンジ色の木のみ	規則を守る心の大切さ
3年1組	アメリカから来たサラさん	国際理解、国際親善の心の大切さ
3年2組	ぽかぽか言葉	親切な心・思いやりの心の大切さ
4年1組	ビクトリーロード	友情・信頼の大切さ
5年1組	アップするの？	正しく善悪を判断する心の大切さ
5年2組	銀のしょく台	互いに理解し合う心・広い心の大切さ
6年1組	ロレンゾの友達	友情・信頼の大切さ
6年2組	会話のゆくえ	正しく善悪を判断する心の大切さ
かがやき1組	公園のおにごっこ	親切な心・思いやりの心の大切さ
かがやき2組	温かい言葉	親切な心・思いやりの心の大切さ

※4年2組は、担任が出張のため、道徳授業公開は行いません。御了承ください。



4年生 「一輪の花」を読み、話し合っ

栄一のお母さんのように行動できる人は少ないし、勇気のいることだと思います。でも、それが本当の優しさや思いやりなんだよねと話しました。自分のことで、人に対して優しさをもてる子になって欲しいなと思いました。

コロナ禍を経験した今の私たちには、身につまされるお話でした。憶測だけで人を判断せず、その人の本心をしっかり見つめて、接することのできる人間になってほしいです。

5年生 「盲目の学者」-「群書類従」にいどんた塙保己一を読み、話し合っ

何かやりたいことや、できるようになりたいことがあった時、その気持ちと努力の仕方が重要で、身体のハンディーキャップは関係が無いということが、良く分かったと思います。私たち親の立場としても、本人がやりたいことや、やってみたいことができた時に、先入観をもたず、「やってごらん」と言ってあげられる、広い心と余裕が必要だと感じました。

盲目の方にとって、最もハードルの高いであろう文書の編さんを、情熱と使命感で成し遂げたことに驚きました。その努力ももちろんですが、娘には、これ程の情熱をもつことが出来るものを見つけてもらいたいと思います。

6年生 「わたしって何」を読み、話し合っ

同じ言葉でも、人それぞれ受け止め方が違う。だからこそ、相手の気持ちになり、自分が言われて嫌なことは言わないこと。そして、親にとって子どもは何よりも大事な存在であること。命のことを軽く考えないで大切にしてほしいと伝えました。

もし友達に「この世から去れ」と思われていたらとても悲しくてどうしたらいいかわからないと言っていました。でも、家族や他の友達などに、必ず娘のことを大事に思ってくれる人がいることを話せてよかったです。

かがやき学級 「一輪の花」を読み、話し合っ

周りの人が何と言おうが、うわさや偏見に捉われず、自分がよいと思った行動をする。子は親の行動をよく見ていますね。親から学ぶこと、親として学んでほしいこと、まずは、私たち大人が正しく生きる姿を見せなければと思いました。

学校のために進んで～落ち葉はき～

上高野小学校の校庭や中庭は、この時期、落ち葉でいっぱいになります。それを見て、6年生を中心に、朝や下校の前に落ち葉掃きを行う児童の姿が見られるようになりました。学校のために、進んで行動する姿が素晴らしいです。

みんなのため、学校のために、JRC（青少年赤十字）の精神である「気づき、考え、実行」できる児童が増えています。



今後も、周りの人や、学校・地域のことを、「気づき、考え、実行」できる子の育成に努めてまいります。

